

令和2年度 学校教育目標具現化の構想

(福岡市立百道浜小学校)

学校教育目標

<本校教育の基調・基盤①>
 ・「日本国憲法」「教育基本法」「学校教育法及び施行令・施行規則」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」「新学習指導要領」に立脚する
 ・「福岡市教育行政施策要項」「福岡市小中学校管理規則」「福岡市人権教育基本方針」「新しいふくおか教育計画」「第2次福岡市教育振興基本計画」「学校教育指導の重点」に基づく

人間尊重の精神に徹し、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かで実践力のある児童の育成

- 生命を尊重する心や他を思いやる心を持ち、自分のよさや可能性を發揮しながらお互いの個性や多様性を認め合う子どもを育てる。
- 生活や学習の基礎基本を身につけ、自ら学ぶ意欲と柔軟な思考力、判断力及び豊かな表現力をもった子どもを育てる。
- 心身ともに健康で、最後まで粘り強くやり抜く意志と体力をもった子どもを育てる。

<本校教育の基調・基盤②>
 ・百道浜小学校の児童の実態把握
 ・百道浜小学校の児童、保護者
 地域の方々の願いの尊重
 ・全職員による共通実践を通した学校運営
 ・特色ある教育活動の推進

学校経営方針

○ 学校の主人公は子どもである。従って、子どものために研修を深め、全ての教育活動を子どものために計画・実践・評価・改善することを基本とする。さらに、公教育としての認識を深め、学校教育目標の達成を目指し、校長を中心として全職員の経営参画による秩序ある学校運営体制を確立し、意図的、継続的な教育実践に努める。また、本市学校教育指導の重点をふまえ、開かれた学校づくりの視点に立った学校・家庭・地域のさらなる連携（共育）を進め、目指す児童像の実現に努める。

めざす学校像

- 児童が主体性をもって、安心して学ぶことができる明るく楽しい学校
- 教職員が働く意欲にあふれ、何事にも前向きで組織的に取り組む姿勢をもつ学校
- 保護者、地域に開かれ、信頼され期待される学校
- 花とみどりが豊かで、落ち着いた心で学校生活を送れる美しい学校

めざす子ども像

- 明るく優しい子ども(徳)
 - ・自分を取りまくすべての人に対して思いやりと感謝の心をもつ子ども
 - ・誰でも元氣な挨拶ができ、優しい心で接することができる子ども
- 自ら学ぶかしこい子ども(知)
 - ・生活や学習の基礎・基本の上に豊かな学力を身につけ、意欲的な態度で学ぶことができる子ども
 - ・友達との対話を通して、考えを広げ、深めることができる子ども
- 健康でたくましい子ども(体)
 - ・心身ともに健康で、何事にも粘り強く向き合いやり抜く力をもつ子ども
 - ・自分の体を知り、健康の保持増進に努めることができる子ども

めざす教師像

- 子どもに対する愛情をもち、受容力や指導力にあふれた教師
- 学校経営方針に基づいた共通の目標に向かい、連携、協働する教師
- 教育公務員としての自覚と使命感をもち、学び続ける教師
- 教育者としての使命感をもち日々の教育実践を通して児童・保護者・地域から信頼される教師

★ 百道浜小学校キャッチフレーズ
 「花とみどりとかがやく笑顔いっぱいの百道浜～仲間と共に力を合わせ目標達成をめざす子どもの育成」

本年度の学校経営の努力点（重点目標）

…より一層 楽しい学校・美しい学校・信頼される学校へ…

- 生徒指導の推進
 - ・不登校やいじめを生まないあたたかい人間関係づくり(集団づくりと日々の細やかな指導・見守りを)
 - ・基本的な生活習慣の定着(3名人{挨拶, 掃除, 勉強}と3つの宝{名札, 靴並べ, 立腰}の徹底)
 - ・人権教育を基盤とし、自分や友達の「よさ」に気づかせる取組(自尊感情・自己有用感の高揚)
 - ・教師と子どもの信頼関係の構築を重視した、体罰によらない指導と共通実践
- 学習指導の充実
 - ☆ A 事業授業公開を機とした「他者と関わりながら、自分の考えを確かにしていく子ども」を育成する学習指導
 - ・日々の授業の中に人権教育の視点をもって臨む(相手の話を聴き受け入れられる学習規律)
 - ・コミュニケーション力の向上(自らの考えを、自信をもって相手に伝える力の育成)
 - ・指導方法の工夫改善による意欲や主体性を引き出す指導(主体的、対話的で深い学び)
 - ユネスコスクールとしてのカリキュラムの実践(総合的な学習の時間を活用したESD教育)
 - 外国語教育の充実と道徳教育の推進(3, 4年外国語活動, 5, 6年外国語科, 特別の教科道徳の本格実践)
- 連携教育の推進
 - ・学校評価の実施と積極的な情報公開(学級・学年・学校だより, 学校説明会, 学校関係者評価, サポーター会議等を活用した評価結果及び改善策の公表)
 - ・保護者や地域団体との連携による豊かな学校生活づくり(PTA, シーサトクラブ, 公民館, 自治協, 旧グリーンプロジェクト, 各種ボランティア等)
 - ・幼保小中の連携を意識した日々の実践(合同研修・SSW・SCを活用した様々な支援等)
- 教育専門職としての指導力の向上を図る研修の充実
 - ・教職員個々のキャリアニーズに応じた研修機会の充実(〇JTとOFFJT)とワークライフバランスを心がけた働き方の意識化(新水曜時制の活用)
 - ・テーマ研究の充実(国語科, 社会科学学習指導法の工夫改善・10月2日全員授業公開)
 - ・人権教育研修の推進(福岡市の人権課題や児童の実態に応じた研修の実施)
 - ・特別支援教育の推進(校内支援委員会の充実と全教職員による特別支援教育の推進)
 - ☆ ICT教育の充実(つながるクラウド・教室タブレット・オンライン研修の積極的な活用)